

まちづくり交付金 フォローアップ報告書
穂高駅周辺地区

平成23年3月

長野県安曇野市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	県道小岩岳・穂高停車場線渋滞長	m	300	150	170	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	105	H22年10月	○	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	穂高駅前まで行く送迎の車が、整備された穂高駅西の交通広場を利用したため渋滞延長が減った。
指標2	放置自転車数	台	50	0	10	確定 見込み	● ●	△	あり なし	● ●	2	H22年9月	△	<input checked="" type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	自転車置き場の整備に伴い、定期的な放置自転車の撤去作業により、ほぼ目標に近い数字となった。
指標3	文化の香るまちづくり	人/年	97,000	126,000	300,000	確定 見込み	● ●	○	あり なし	● ●	361,421	H22年10月末	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	市民活動が行われ、また併設する図書館の機能が従来の図書館から大幅に改善されたため、入館者数が大幅に増えた。
指標4	歩行環境の満足度	%	10	50	53	確定 見込み	● ●	○	あり なし	● ●	56	H22年5月	○	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	JR穂高駅の東西連絡通路が実現しないため、利用に関する不満はあったが、主要施設への道路整備が行われ、歩行環境への満足度は上がった。
指標5	住民のまちづくりへの関心度	%	10	50	65	確定 見込み	● ●	○	あり なし	● ●		H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
その他の数値指標1						確定 見込み	● ●					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2						確定 見込み	● ●					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3						確定 見込み	● ●					H 年月		<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるために行う方策 	<ul style="list-style-type: none"> 踏切での渋滞が緩和された。 穂高駅西交通広場整備等により穂高駅利用者の利便性が図れた。 	—	—	より一層駅と交通広場の利便性を図るために、穂高駅の東西自由通路及び、駅の橋上化をJR側に働きかける必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 道路等公共施設整備を実施し、低層住宅街としての基盤整備が行われた。 	地区計画の導入	地区計画に従い、建築着工件数が多く、穂高地域の代表的な住宅街になりつつある。	鉄道を利用して安曇野を訪れる観光客の玄関口となっているため、その目の前の風景を大切にできるような住宅街の構築が必要である。そのためには、住民協定の導入なども必要である。
	<ul style="list-style-type: none"> 地域文化の拠点として交流センターを整備したことにより、多くの市民が利用し市民活動が盛んになった。 	市民による様々な企画、展示を継続的に行った。	地域住民のコミュニティ活動の拠点地ができ、発表の場が持てることで、多くの市民が訪れた。	市民活動が継続的にできるよう市民の要望にこたえる市の支援体制を構築する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> 改善策 まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	<ul style="list-style-type: none"> 穂高駅東西自由通路が整備できなかったことにより、自転車・歩行者は駅西交通広場から駅北側の踏切を利用して改札に向かうことになるため、車椅子・子供・身体障害者等の安全面から課題が残る。 	穂高駅東西自由通路及び橋上駅舎化のJRとの協議	改築順の関係や、鉄道利用者の低迷などによることから、なかなか前向きな回答が得られない。	駅西の交通広場をより一層活用できるように、また、鉄道を利用する観光客の安曇野の玄関口でもある穂高駅前の再開発などに合わせて今後も協議を重ねていきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 施設を有効利用するために市民活動の更なる充実を図る必要がある。 	市民による様々な企画、展示を継続的に行った。	地域住民のコミュニティ活動の拠点地ができ、発表の場が持てることで、多くの市民が訪れた。	市民活動が継続的にできるよう市民の要望にこたえる市の支援体制を構築する必要がある。
	<ul style="list-style-type: none"> 歩道等の未改良道路があることから、さらに整備を進めていく。 	—	予算等の関係から事業完了の翌年度からの事業実施ができなかった。	

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項
市民同士の交流拠点はつくられたが、市民と観光客との交流拠点としての整備が必要である。	現在ある観光案内所の機能充実、観光の核となるセンター施設	未定	<ul style="list-style-type: none"> 財源の問題 現在の駅前用地の不足、駐車場の問題